

網 見 白布打之 大臣大將無差

〔西園寺家車圖〕納言大將半蔀車

一 網代 棟ノ上、物見ノ上下、例網代也、文如恒、半蔀ノ上、白網代無文、裏ハ小格、子如、例、袖ハ白網代、以、漆畫、文、或記云、半蔀上、例網代云々、度々記、不同

一 物見板 外ニハ、籐ヲ採色、内ニハ、畫遠山霞鶴、下、落、入、之、様ニ構之、内ニ、懸金懸之、

一 立板 小葵綾ヲ張、天、畫、四季繪、右ノ前、夏、同、後、冬、赤地錦縁、上下、四角、并、其、間、有、平、金、銅、金、物、

一 外金物、并、開戸金物等、黑赤銅散物、内金物、并、雨皮付、有、栗、形、 簾懸半蔀之角等金物、銅黃物、

一 下張 白色紙、有、薄、

一 簾 青編糸、五緒、一ツ文、藍革縁、文、小鞆、繪、裏ノ縁ハ、青唐綾、上緒、不入、革崎、

一 物見簾 編糸、并、裏縁等、如、先、青地錦縁、小、文、一方ニ、二枚ニ、別懸緒、二筋組、

一 疊 高筵、大文、高麗縁、

一 下簾 青末濃、如、例、

一 鞆 敵諸總、

一 榻 散金物、黑赤銅網代、并、八葉、之時、猶用、此榻、當家、如此、

〔武家儀式〕半蔀車、大將よりこれにのる、執柄も大臣も、ともに是をもちゆる、そこらのあじろは、まろし、袖にうるしにて、きりの立枝をかく、御家の文なり袖の下ばりは、白きあられの紙にてはるべし、このたて板の外は、小八葉のあじろなり、内には四季の畫をかく、縁はあか地のにしき、半蔀のみは、まろきあじろ下は、かうしつかひ、并にかきがねみな金銅なり、物見のおとし入、外には、すだれのかたをかく、うちには雲に鶴遠山なり、をとし入は、腰板の中へ入べし、大すだれへり、藍かは、小すだれへり、あを地のにしき、かけをのくみ八筋、ひらきどのかな物は、ちらし物也、まやくどうに白き紋あり、はんでう、うげんのへり、まぢのかな物、ちらし物なり、